

若い芽

令和8年 学校祭特集号

2026年(令和8年)10月2日発行

学校祭を振り返って

< 3年1組 >

私たちは今までに3回学校祭をやってきました。その中でも今回は1・2年生の時の反省を生かしたステージ発表ができました。今年の1組は個性豊かで、より一層、一人ひとりがその役になりきり、ステージを盛り上げました。特に今年は1・2年生の時とは違い、不安な部分や身振り・手振り、声の出し方などそれぞれの役にあった練習をし、何度も何度もくり返し行いました。互いに声をかけ合い、アドバイスをしたり、より完成度の高い劇にできるよう努力しました。一つの意見だけでなく多数の意見が出ることで、3年1組の個性も出すことができました。演劇練習では隅から隅まで目を通し、いろいろな視点から見ることで、よりよいものにすることができました。自分が得意とする分野を生かし、プラスにすることで、多くの人を笑顔にすることができたと思います。中学校での学校祭は終わってしまったけど、たくさんの学びや失敗、大変なこともあったけれど、この経験を忘れずに今後に生かしていきたいと思います。

< 3年2組 >

今年の学校祭ではPJ長という立場であったため、昨年よりも緊張感がすごかったです。企画考案者であることもあって、笑いをとれなかったらどうしようという不安もありましたが、中々ウケたようで安心しました。準備期間の時も学級全体が率先して練習に参加していて、先生がいない日でも安心して活動することができました。本番が近づくにつれ、不安や緊張感が高まってきましたがキャストの一人がずっと同じセリフを言い間違えるなど、笑える場面もあってよかったです。とにかく中学最後の学校祭を良い形で終えることができて、とても嬉しいです。次の行事の合唱コンクールでは特に責任のある立場につく予定はありませんが、学校祭同様に良い結果で終われるようクラスの一人として頑張りたいです。

< 3年3組 >

私は今年の学校祭を振り返って、クラスの人の良いところをたくさん発見しました。「ホーム・アローン」の劇をすることになり、完成した台本を見てみると、キャストだけでなく、大道具・小道具や音響、照明の役割も難しそうで、今年は例年より学校祭が2週間近く早まっているので、本当に学校祭までに100%のステージ発表ができるのか心配でした。しかし、夏休みが明けて学校が始まり、学校祭の準備が活発になると、私の心配とは裏腹に、ほとんどの人が劇の流れを覚えていて驚きました。クラスみんなのおかげで難しい台本なのにも関わらず、練習がとてもスムーズにいき、体育館や格技室での通し練習のクオリティがどんどん上がって、練習をしていくにつれ、どんどんうれしくなりました。仕掛けや動きが難しく、練習でもっと良い劇にするためにはどうすればいいかなどの案をたくさん出し、3組の人たちは頼りになると実感しました。当日も自分の役割を全うして、3年3組で劇をすることができて良かったと思いました。合唱コンクールも力を合わせて頑張りたいです。

< 3年4組 >

今年の学校祭はプロジェクトメンバーが4人だったこともあり、今までよりも自分が中心となって作業することが多かったです。私は苦手なりに効率のよい進め方を考えたり、積極的に作業に取り組みました。また、みんなも指示をきちんと聞いて協力してくれたおかげで、とても良いステージバック装飾ができたと思います。さらに自分たちで作ったものを背景に卒業式を迎えられることが、とてもうれしいです。学校祭当日は、中学校生活最後の学校祭ということもあり、今までで一番楽しい学校祭になりました。特に3年生のステージは、道具も演技も凝っていて、とてもすごかったです。



< 3年7組 >

学校祭が9月18日に行われました。今年の学校祭のテーマは美術の時間にみんなで作った「ポンデリング」でした。また、7組のテーマは「Cheer Up!～みんな輝く一番星～」でした。私たち3年生にとっては、最後の学校祭で、いつも以上に張り切りました。みんなも学校祭の練習を頑張りました。私はポンポンかわいい隊で、赤色でした。青色のポンポンを持って、落ち込んでいる人を励ました。私と1年生の男の子と2人で、大きなポンデリングを持ってステージの真ん中に歩いて行く時は、すごく緊張しました。他の3年生は、演技隊としてカリスマックスを踊っていました。踊っている姿は、とてもかっこよかったです。最初の練習の時は、顔が固くなっていたけれど、途中から自然と笑っていました。みんなで力を合わせて、最後の学校祭を大成功にできました。



< 2年1組 >

私は衣装作りを担当しました。最初、ウディの牛チョコキを作製しました。布を使うか、画用紙を使うかで迷いました。布を使った方が動きやすいだろうけど、画用紙を使った方が遠くの席の人からもちっと見えるかなと思い、画用紙を使うことに決めました。友だちが模様を貼るのを手伝っ

てくれたおかげで、すぐに完成させることができました。自分の役割が終わり、背景作製・ポテト作製の手伝いをしました。どちらも目立たせたい所に段ボールを重ね、目立つようにさせていました。それを見て私は感動しました。そもそも私はそんな事思いつかないだろうし、思いついたとしても自分の器用さに自信がなくてやっていなかったと思います。ポテトの耳が取れやすかったり、思い違いの部分もありましたが、仲間で協力し、アイデアを出し合ったことで素晴らしい物を完成させることができました。本番では役者・衣装作り・照明など2の1の全員の努力が一つになり、めっちゃ良い発表ができました。そして仲間と協力する大切さを学び、友情を深めることができたと思います。

< 2年2組 >

私は今年、中学校で初めてのステージ発表で、しかも去年より学校祭準備の時間が短いので全力で頑張ろうと思いました。去年の装飾の時、用意する必要のなかった衣装やステージに使う大道具・小道具の量も増え、装飾の時よりあきらかに準備するものが多くなり、とても大変でした。私は小道具担当で、ステージ発表に使う「大きなポンデリング」を作ることになりました。ポンデリング以外にも小道具担当で作るものがあつたので、人員を分け、ポンデリングは3人で作ることになりました。最初は3人とも全力で頑張っていたけど、物作りの終わりは見えなく、段々個人の想いがすれ違っているのかもしれないなと思いました。ずっとその状態でいるのは嫌だったので、各々がどうしたいのか意見の共有をして、これからの制作の方向性を決めました。意見の共有をしたからか、3人の団結力が高まり、無事に完成することができました。このことから、団結することの重要性を学びました。この学んだことを活力として、合唱コンクールで団結して頑張りたいです。

< 2年3組 >

今年の学校祭は、僕にとって初めてのステージで、とても緊張しました。だけど最後までクラス全員でやり遂げられて、とてもうれしかったです。準備の時に正直「本番までに間に合うかな」と不安になりましたが、クラスの大半が、ほぼ毎日放課後まで残ったり、役者は演技がうまくいくまで何度もやり直したり、クラス全員が協力して、なんとか間に合いました。僕はそこで「TEAM コハマ」を感じました。2の3のみんなといられるのも、あと半年。合唱コンクールも「TEAM コハマ」で頑張っていきたいです。

< 2年4組 >

学校祭を振り返って感じたことは、全員が今回自分にできることを探していたのを見て、真剣に取り組んでいるんだなと思いました。そして一つの事に、ひたむきに努力することができるのが、このクラスの強みだなと感じました。今回の学校祭で4組は装飾担当になり、最初はステージ発表をしたがってみんなには申し訳ないなと負い目を感じていて、乗り気になれませんでした。活動を進めていくうちに、作業に夢中になっている自分がいました。気がつくと片付けの時間になっていて、急いで片付ける時もありました。友だちと少し話しながら作業したり、一人で黙々と作業したり、いつの間にか工作の虜になっていました。顔はめパネルが完成して、ホールにいるメンバーに見せに行った時、メンバーも他のグループの人もすごく頑張っていて、それを見て僕も「頑張ろう」と思えました。一つの事に全力を注げる2年4組を大切にしていきたいです。



< 1年1組 >

初めての学校祭でドキドキ、ワクワクしていたんですけど、作業をやっていく中で、気持ちがもっと高鳴っていった、学校祭当日は最高に楽しかったです。みんなで協力した作品がほめられるのもうれしかったです。ステージ発表は声がハキハキとしている人が多くて、聞き取りやすく、とても面白かったです。今年は装飾の楽しさを味わったので、来年はステージの楽しさを味わいたいなと思いました。協力をすると一人で何かをやった時よりも、楽しく早くやれるので、協力することの大事さを改めて知ることができました。みんなの笑顔をたくさん見て、私もすごく笑顔でいることができました。学校祭はみんなを笑顔にしてくれる行事でもあり、協力の大切さを教えてくれる暖かくて大切な行事なんだなと思いました。来年も楽しく最高にやりたいです。

< 1年2組 >

学校祭で頑張ったことはたくさんあります。例えば、道具作りやキャストの芝居の練習です。道具作りは、見た人が「すごい」と思えるようにクオリティが高い物を作るよう頑張りました。一緒に作った人とお互いにアイデアをたくさん出し合いました。そして、いろんな人が「すごいね」と言ってくれました。キャストの芝居練習は本番を想定して、待機している時のことや声の大きさを考えました。本番では練習の成果があって、とても良く演技できたと思います。この学校祭で学んだ事は「全員で協力する」ことです。準備も本番も誰かが手を抜いたら、良いステージ発表にはなりません。この行事を通して、うまくいかない時もありましたが、全員で協力できたと思います。この経験を普段の学校生活はもちろん、次の合唱コンクールに生かしていきたいと思います。

< 1年3組 >

学校祭を振り返って、玄関装飾の準備をみんなで協力したことが印象に残っています。準備をしている時は思うように作業が進まなかったり、意見が合わなかったりして大変な所もありました。でも完成に近づいていくのを見ると達成感がありました。そして、学校祭当日に完成した玄関を見た時は「頑張ってよかった」と思いました。自分たちで考えて作った物をたくさんの人、先生方にほめてもらえてうれしかったです。今回の初めての学校祭を通して、みんなで協力してから作り上げる楽しさや最後まで頑張ることの大切さを学びました。大変なこともあったけれど、心に残る思い出になりました。来年は今年の経験を生かし、みんなで団結し、協力して、より多くの方に喜んでもらいたいです。

< 1年4組 >

中学生になって初めての学校祭。「トトロ」をすると聞いてワクワクしました。いざ練習をしてみると全然できず、道具も作れるかわからず、不安でいっぱいでした。だけど何度も練習して上手になりました。その時はみんながまとまった感じがしました。学校祭当日、他のクラスの発表が進んでいくのを感じて緊張しました。けれどみんな一生けん命頑張っていて、自分も頑張ろうと思いました。学校祭を通して思った事は、2・3年生の演技がすごかった事です。特に手などの振り付けをしていたところです。これこそ何度も練習したんだなと思いました。2年生になって、またステージ発表の時は団結力をもって頑張りたいです。

< 1年5組 >

今年は初めての学校祭だったので、いまいちどんなものか分からず、ワクワクしていました。先生や先輩方から話を聞くと、とても楽しみで「絶対成功させるぞ」とさらに楽しみになりました。学校祭活動で5組は装飾だったため、何を作るか、クラスで決め、コンセプトやテーマ、場所を決めていき、恐竜やカエル、ドーナツ、マーケットなど、とても5組らしい装飾の計画ができて良かったです。また、みんな自分から作業に取り組んでいたりと、やる事がなくなったら手伝ったりすることができていて、とても良かったと思います。学校祭当日はステージ発表の手拍子をしたり、盛り上げるところはしっかり盛り上げるなど、見る態度としてふさわしい行動ができました。今年は装飾を担当して、仲間と何かを作る楽しさを知ることができました。来年は3年生みたいにクオリティが高い劇をやりたいです。

